



&lt;学校の教育目標&gt;

心豊かに たくましく 生きる子

さくら

1月号

可児市立桜ヶ丘小学校

No. 10

令和4年12月23日



『仲間と協力 笑顔で楽しい宿泊研修』

5年生 副学級委員長 瀧波 彩希

私たち学級委員の宿泊研修での願いは、一人だけではなく、仲間と協力し合い、楽しく、笑顔で、悔いの残らないような研修にしたいです。そのために、次の活動を見通して呼びかけをしたり、困っている子がいたら声をかけあったりすることを大切にしていきたいです。

みんなで楽しい宿泊研修にしましょう！

## 自分が…仲間と…。



## 岐阜市少年自然の家

11月の修学旅行に引き続き、3年ぶりに5年生宿泊研修を実施しました。新規感染者数が増えている状況での実施のため、保護者の皆様にはいろいろご心配をおかけしました。また、健康観察や準備では多大なるご協力を賜りました。特に、ボランティアを引き受けくださった有志の皆様には、スムーズな運営の支援をしていただきました。おかげさまで、大過なく宿泊研修を実施することができました。ありがとうございました。

さて、宿泊研修を行った岐阜市少年自然の家は、岐阜市北東部の丘陵地にあり、雑木林や谷戸、湿地など、緑豊かな「岐阜ファミリーパーク」内にあります。シンボルマークの青い波線は長良川、鵜飼、躍動する鮎をイメージし、次の3つの願いを示しています。

\*ほほえみ…自ら考え、工夫して活動をやりきることで、成就感や達成感を味わわせ、  
    自主的、創造的な態度を養う。

\*なかま……一人一人が役割を果たすとともに、規律を守り、互いに協力し活動する  
    ことで、仲間を思いやる態度を養う。

\*自然……五感を働かせて自然体験活動に取り組むことで、自然に対する興味関心  
    を高め、自然に親しむ態度を養う。

このような豊かな自然に囲まれた施設で、「火起こし」「野外炊事」「キャンプファイヤー」「オリエンテーリング」という活動に取り組みました。退所式の際、子どもたちに感想を聞くと、「協力することができた！」と充実感あふれる笑顔で答えてくれました。すべての活動が上手くいったわけではないかもしれません、自分が、仲間と一緒に活動した経験が子どもたちの満足感につながったのだと思います。

一方、「やり方がわかっていないかった。」「切り替えができなかった。」という反省の声もありました。しおりに記された活動内容や注意事項を十分に読み込んでいなかったことや、自分のやりたいことを優先して周りが見えなくなってしまったことが原因だと感じているようです。しかし、このように原因を明確にし、挽回することも有意義な経験です。

めまぐるしく変化している社会を生き抜くために、子どもたちには、自分がどのように行動するのか、自分で判断することが求められています。的確な判断は、様々な“経験”があってこそできるものだと私は思います。それは、宿泊研修などの行事活動に限らず、毎日の学習や学校生活、家庭生活を主体的に取り組むことで身に付くと思います。また、発達段階に応じて段階的に取り組むことも重要です。

やってみせ 言って聞かせて させてみせ  
    ほめてやらねば 人は動かじ。(山本五十六)

冬休みにはご家庭で相談して、子どもたちが主体的に取り組める活動をさせてみて、見届けや価値付けをお願いします。 林 弘

